

明日の天気は変えられない、でも市民の力で変えられる深谷の政治!



清水けんいち 市政レポート

政策討議資料
第12号
2010年4月

〈ご挨拶〉

皆様のお陰で市議会議員となり、3年が過ぎようとしております。

日頃からのご支援ご協力に心より感謝申し上げます。

2月に行われました市長選挙で、小島新市長が誕生しました。小島市長は昔からの友人であります。市長と議員の立場を忘れることなく今までと同様に「是々非々」を貫き、市政発展のため、市民の皆様のため、これからも鋭意努力してまいります。

これからも、市民皆様の御意見や御要望を聞かせていただき、「住みやすく・暮らしやすい・子育てしやすい街」深谷の実現に向け、活動してまいりますので、ご支援ご協力を宜しくお願い申し上げます。

〈議会報告〉

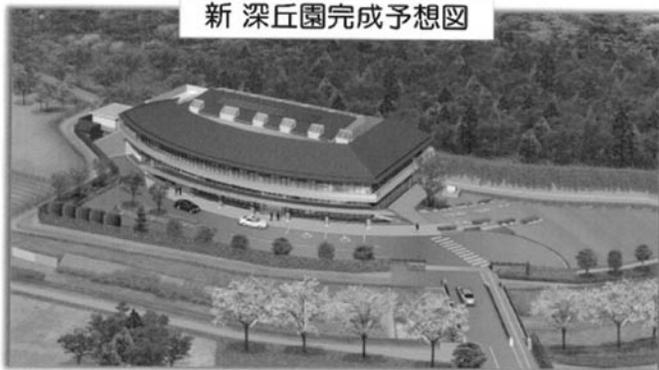
深谷市議会 平成22年度 第1回定例会3月議会が終了しました。

主な議案

- ・ 深谷市火葬場条例
 - ・ 平成21年度深谷市一般会計補正予算（第8号）
 - ・ 平成22年度深谷市一般会計予算
- （他、市長提出議案35件、請願1件）

いよいよオープン!

新しい火葬施設「深丘園」が、本年6月に完成します。



新 深丘園完成予想図



※ 上図は予想図ですので、完成時の仕様や色彩等とは異なる場合があります。

清水の私見



あまりお世話になりたくない施設ではありますが、人間誰しも一度はお世話にならないとはならない施設です。公衆衛生上、新しくなるのは環境配慮の観点からも喜ばしいことです。

平成21年度深谷市一般会計補正予算(第8号)概要

(単位:千円)

予算事業名	補正前額	補正額	きめ細かな臨時交付金	補正理由等
庁舎維持管理費	266,190	98,088	●	本庁舎2・3階改修工事、市民体育館・教育庁舎受電設備改修工事
コミュニティセンター管理運営費	18,736	17,261	●	深谷コミセン空調機器改修工事
花植木公設地方卸売市場費	29,907	8,550	●	市場の活性化に向けての駐車場の整備及び施設の修繕するため
農業地域研修施設管理運営事業	41,533	10,837	●	施設の老朽が激しいため、緊急に修繕が必要。川本農業者トレーニングセンター体育館照明改修工事、川本農業総合地域施設床張替工事、花園農業者トレーニングセンター空調機新設工事、川本農業者トレーニングセンター浄化槽フロア修繕工事、本郷農業総合センターカーテン修繕
深谷グリーンパーク管理運営費	181,591	20,201	●	施設の安全な維持管理のため必要な修繕を実施するもの。県道の拡幅工事に係る移設補償費を充当
深丘園周辺整備事業	54,054	33,769	●	深丘園周辺の道路等の整備
武川中央土地区画整理事業特別会計繰出金	38,232	82,950	●	調整池の整備
市営住宅維持管理費	40,450	28,455	●	市営住宅老朽箇所の修繕
小学校施設整備維持事業	338,009	42,315	●	幡羅小学校庭整備、桜ヶ丘小学校舎3階ホール屋上防水改修工事、川本南小プールサイド及び水槽内改修工事
中学校施設整備維持事業	172,729	143,996	●	深谷中学校庭整備工事、岡部中学校舎屋上防水改修工事、花園中プール改修工事
公民館施設整備維持事業	105,800	58,470	●	豊里公民館エレベーターを設置する
図書館管理運営事業	98,450	18,528	●	エントランスホール改修及び出入口周辺整備
市民文化会館管理運営費		15,430	●	花園文化会館アドニスの外壁等修理工事。アドニスの劣化している外壁の防水塗装及び西側ピロティ部分のタイル貼替、排水溝・階段の新設を行い、施設の適正な維持管理を図るため。
B&Q海洋センター整備管理事業	2,611	8,950	●	岡部B&G海洋センター体育館アスベスト対策

清水の私見



今回の補正額は1億5千199万3千円で、入札結果による減額補正や国の補助金名称変更によるものが多くを占めておりますが、国や県の補助金内容をよく精査し、市民の皆様にも有効なものとはどんどん補助支給を受けるべきと感じました。ちなみに今回の補正財源は、国の第2次補正で実施された「きめ細かな臨時交付金」3億4千350万9千円が充当されております。

平成22年度当初予算

(単位:千円)

年度	21年度	22年度	差引	前年対比(%)
一般会計	43,005,500	39,309,125	△3,696,375	△8.6
特別会計	18,931,151	18,594,961	△336,190	△1.8
企業会計	9,958,402	8,756,330	△1,202,072	△12.1
計	71,895,053	66,660,416	△5,234,637	△7.3

清水の私見



平成22年度当初予算は、小島市長就任から本議会開会まで僅か2週間余りということ、小島市長の事業仕分けの実施という公約を受ける形となり骨格予算となりました。(骨格予算とは、義務的経費、継続的事業のみの予算)

それにしましても、一昨年前からの景気低迷による税収の落ち込みには、歯止めが掛かりません。事業仕分けなどによる経費の削減はもとより、企業誘致などによる税収の確保を急ぐべきと痛切に感じました。

主な市税収入の見込み(当初予算対比)

(単位:千円)

区分	20年度	21年度	22年度	前年対比(%)	
市民税	個人	7,259,479	7,196,189	6,871,333	△4.5
	法人	1,764,189	1,165,844	865,479	△25.8
	計	9,023,668	8,362,033	7,736,812	△7.5
固定資産税	固定資産税	8,442,399	8,248,412	8,235,078	△0.2
	国有資産交付金	25,452	25,294	25,058	△0.9
	計	8,467,851	8,273,706	8,260,136	△0.2
軽自動車税	229,173	245,604	250,833	2.1	
市たばこ税	901,962	900,302	817,240	△9.2	
都市計画税	507,348	505,199	514,228	1.8	
計	19,130,002	18,286,844	17,579,249	△9.3	

3月15日 清水健一の 一般質問と答弁(要約)

「人のお世話にならぬよう、
人のお世話をすよう、
そして報いを求めぬよう」

これは、明治・大正・昭和の激動の時代を生き抜いた、郷土の偉人「渋澤榮一翁」の盟友、近代日本の原型を描いた政治家・後藤新平氏が残した「自治三訣」の教えです。



政治家の本質が問われている昨今、肝に銘じていくべき教えです。おはようございます。議席番号3番・清水健一です。傍聴の皆様、朝早くからご苦勞様です。

小島新市長を迎え、一般質問の方式も一問一答方式になり、トップバッターを務めさせていただきますが、全ては市政発展のため、市民皆様のため発言通告書に基づき質問に入ります。

質問 若い世代の定住策推進について

次世代育成支援行動計画・今後の「子ども行政」について質問します。

少子化の急速な進行は、我が国の経済社会に深刻な影響を与えます。そこで政府・地方公共団体・企業が一体となり対策を進めるとして公布施行されたのが「次世代育成支援対策推進法」です。この法律では、10年間に亘り集中的に取り組むものとして、地方自治体に行動計画策定を義務付けました。その行動計画策定指針には、児童福祉・母子保健・商工労働・教育・住宅の各分野にまたがるため、関係部局が連携し部局横断的に取り組み、総合的な推進体制を整備するべきと書かれており、他市町では、市長部局に「子ども部」などを創設し対応しているが、深谷市では、出産から保育園までが児童課で、幼稚園・小中学校が教育委員会、そして学童保育が、またまた児童課！高校生になると担当課が曖昧になっているのが実情です。若い世代の定住策推進は、税収の確保、地域の活性化の観点からも重要と考えます。「深谷らしい子ども行政」を確立していくための進捗管理や総合調整を、どのように行っていくのか？聞かせて下さい。

答弁 清水議員ご指摘のように、現在の深谷市の「子ども行政」に対する組織体制は行政目線のものであり、市民の皆様へ解りづらいものとなっております。今後はサービス内容を充実させると共に、市民目線での組織体制の見直しを検討してまいります。また、「深谷らしい」ものとするために地域別のアンケートの実施や、大人だけではなく、子どもたちへのアンケート実施も研究してまいります。

質問 予算編成について

国や市の予算は、全てが税金から充てられていることは言うまでもありません。その使い道が、公平・公正・公開の理念に基づき行なわれているのか。今年度の事業を評価する事務事業評価から、次年度の予算編成方針、新規事業の案などを市民に公開して意見を求めたり、新規事業を行うか、行わないかなどの査定状況も公開することで、初めて公平で公正になり、密室政治からの脱却が図れると思うが見解を聞かせて下さい。

答弁 9月に行う「事業仕分け」は、仕分け人を市民から広く公募するなど公平・公正に公開を原則に実施する予定です。議員ご指摘の予算編成や新規事業の査定状況も市民に公開し、広

く意見を求めるパブリックコメント手続きを前向きに検討していきます。

質問 学校給食費の負担軽減！無料化について

この問題は、政府や文科省でも議論され全国の自治体でも2年前とは違った状況になっております。学校給食を教育の一環であると捉え、教育基本法第4条2項により無料にすべきという考えや、学校給食法に沿って、食材費は保護者負担であるという主張、どちらも間違っていないと、私は認識しております。そんな中、給食を無料にしたり、負担軽減を実施している自治体が増えてきておりますが、考えを聞かせて下さい。

答弁 深谷市では学校給食法に則り、食材費は保護者負担、調理施設の管理運営費や調理器具・人件費などを市が負担しております。現在の財政状況を見ますと、無料化ならびに負担軽減は考えられません。

再質問 それでは、農業政策・地産地消の観点から質問します。現在、深谷市では米飯給食に委託炊飯方式を取り入れ、業者が久喜市から配送してきています。中学生1食あたり約62円掛かっていると思いますが、自前炊飯にすることで約30円と安くなり負担軽減に繋がるが、そうしたことを今まで研究されてきましたか？

再答弁 確かに、炊飯施設を設置して自前炊飯にすれば、食材費が下がり、保護者の負担軽減に繋がるのは解りますが、調理施設の改修工事に費用が掛かりますので、今後の研究課題とさせていただきます。

質問を終えて

今、我が国の最大の課題は、少子高齢化社会をどう乗り切るかにあると思います。経済対策も、この問題抜きには考えられません。我、深谷市も「未来を担う子どもたち」に対する政策を真剣に考え実行して行かなければなりません。深谷に生まれて良かった！この深谷市に住みたいと思っただけのためにも、「深谷らしい子ども行政」の確立に向け活動してまいります。

視察活動報告



千葉県 佐倉市

佐倉市では、選定文化遺産事業について視察してきました。これは、文化財指定と異なり、市民の活動などを市の遺産として指定するものです。

千葉県 我孫子市

我孫子市では「子ども行政」のあり方、予算編成の公開、提案型事業民営化制度について調査してきました。



静岡県 藤枝市

藤枝市は、深谷市と姉妹都市になっていて、今回の視察は遺跡の保護と観光活用について視察してきました。



※清水けんいち氏は、視察実施後に、必ず深谷市に取り入れられる事業を提言させていただいております。

清水健一連絡先

〒369-1246 深谷市小前田2406-8
TEL 048-584-0717

FAX 048-584-0396

ホームページ: <http://www.shimizu-kenichi.jp> (ブログ公開中)

E-mail: info@shimizu-kenichi.jp



プロフィール

昭和36年1月27日生まれ (49才)

家族構成 父、妻、子供3人 (6人家族) 犬 (オス) 1匹 (名前ショコラ)

- 埼玉県立熊谷工業高校 卒業
- 社団法人深谷青年会議所 第35代理事長
- 深谷市PTA連合会 会長
- 深谷市立花園小学校 PTA会長
- 深谷市立花園中学校 PTA副会長
- 埼玉県立深谷高校 PTA会長
- 深谷市子どもサポート市民会議 副会長
- 花園商工会青年部長

このレポートは旧花園地域には折込により全戸配布しており、他の地域の皆様には年2回郵送させていただきます。郵送希望の方を紹介していただければ郵送させていただきますのでFAXやメールでは是非、御紹介して下さい。